

第 65 回 大分県事業評価監視委員会

日時：令和 6 年 11 月 11 日（月） 10:00～13:30

場所：トキハ会館 5 階 ローズの間

議題：公共事業評価（再評価 4 件、事後評価 1 件）

出席委員：角山委員長、田中委員、鶴崎委員、鈴木委員、川田委員、安波委員、志賀委員

対象事業：

午前の部

1. 【再評価】 道路改築事業 一般県道色宮港木立線 浦代浦～木立工区
2. 【再評価】 道路改築事業 一般国道 197 号 大志生木拡幅
3. 【再評価】 地すべり対策事業 乙原地区
4. 【事後評価】 海岸環境整備事業 国東港海岸 武蔵（藤本）地区

午後の部

5. 【再評価】 防災重点農業用ため池等整備事業 竹田南部地区

（審議開始・午前の部）

1. 【再評価】 道路改築事業 一般県道色宮港木立線 浦代浦～木立工区

○道路建設課 説明 10:10～10:22

○委員

現地視察に参加し、事業の必要性を実感した。トンネル内でトラック同士がすれ違えないため、出入り口付近でクラクションを鳴らしながら待機するとの話もあったが、実際にトンネルを走行してその長さに驚いた。入口と出口でトラックの位置を把握するのは難しく、非常に危険である。迅速な対策を期待する。

○委員

過去に視察しており、この事業の必要性は理解している。ただ、今回の走行時間短縮便益が以前の評価より小さい理由が疑問である。

○道路建設課

前回評価時と今回評価時で、費用便益分析マニュアルに変更があり、今回の場合は、便益の算出に用いる時間価値原単位等が異なるため、数字が違うものとなっている。

○委員

マニュアルの変更があったとのことだが、割引率も現実的な水準に下げるよう取り組まれていると思うが、便益の算出基準が時代に応じて見直されているのか確認したい。

○道路建設課

国土交通省が適宜、便益算出のマニュアルを更新しており、基本的な便益の考え方や評

価基準は変わっていないが、細かい部分での調整が行われている。また国土交通省のHPによると、これまで便益項目としていないものについて、評価のあり方などを検討しているようである。

○委員

通常であれば、B/Cが0.6と1を切っているため、継続は難しいと判断されるが、本事業は、安全性が確保されていないため、基準に関係なく工事を進める必要がある。安全性の問題を十分に記載し、これを強調するべきだと思う。

○道路建設課

書き方を少し強調する。

○委員

視察でこのトンネルが非常に狭いことを確認した。現状の写真では安全そうに見えるが、実際の車内からの視点だと非常に怖く、災害時には安全な避難が困難に感じられる。現地での細かい資料を見て、工事費用が増加するのも理解できたが、現場の状況をもっと説明に反映させるべきである。

○道路建設課

小型車同士でもすれ違うのが難しい状況が発生しているので、改善を早急に進めたいと考えている。

○委員

視察には参加していないが、既設トンネルや道路がいかに危険かは他の委員の話から理解した。新設道路ができた際、既存の道路やトンネルの活用方法や管理についても情報提供をお願いしたい。

○道路建設課

新しい道路が完成した際、既設の道路は佐伯市に譲渡される。その後、旧道の管理や活用も佐伯市が担う予定である。

○委員

旧道の管理や活用についても考慮する必要があると思う。新しい道路の開通に伴い、市の負担も増加していることが気になる。既存の道路やトンネルがどのように活用されるのか、新設道路計画と合わせて記述いただけるとありがたい。新しい道路が整備されることで、古い道路が残る形となるため、その活用についても検討をお願いしたい。

○道路建設課

極力現道を生かした改良計画を基本としている。今回は縦断がきつくて現道活用が難しい状況であった。旧道の管理や活用についても、説明するようになりたい。

○委員

地図を見ると等高線がすごく細かいので、工事はすごく大変だと感じた。今回の事業費増額の理由として、トンネルDパターンや切羽の自立が悪い場合に鏡吹付けを追加することだが、今後、地質状況に応じて追加の補強が必要になる可能性もあるのか。

○道路建設課

トンネルを計画する際は、ボーリング調査をしっかりと行い、専門家のご意見も伺いながら設計を行っているので、できる限りの精度は保っている。しかしながら、実際に掘削した際には、部分的に脆弱であったりすることも多々あり、鏡吹付けなどの対策費用が増加する可能性はある。

○委員

現地調査には参加していないが、この地域が自然豊かな場所と想像している。自然環境や景観保護のための配慮、また生態系調査が行われているのか。

○道路建設課

生物の調査は実施しており、希少生物はいないことを確認している。また環境への影響を最小限に抑えるルートを選定し、植生の復元も行う予定である。

○委員

環境に配慮しているので、記述したほうが良い。

～10:43

2.【再評価】 道路改築事業 一般国道197号 大志生木拡幅

○道路建設課 説明 10:44～10:53

○委員

ウミガメの保護について、今後のモニタリングが重要とのことなので、2-2「環境等の配慮」に、モニタリングの取り組みを明記してほしい。

○道路建設課

追記する。

○委員

本事業の西側も路肩の狭い箇所があるが、道路事業の計画があるのか。

○道路建設課

路肩が狭いのは承知している。現時点で計画は無いため、優先順位を見極めながら、今後検討していく区間のひとつである。

○委員

現地の道路や歩道が整備されており、安全面の確保がされていることも評価できるが、歩道の未整備箇所やサイクリングロードの位置が分かりにくいいため、県民に分かりやすく広報してほしい。

○道路建設課

検討する。

○委員

この地域は、人口減少や高齢化が進行しており、特に子どもの数が減少しているため、地域の魅力発信が必要である。美しい海岸線と整備された道路を活用して観光客を呼び込むためのPRを強化し、だから早く整備すべきだという流れで説明できると良いと思う。PRをお願いする。

○道路建設課

PRの不足についてご指摘いただいたが、確かに土木はPRが下手と言われている。トンネルや橋に地元の子供たちに落書きしてもらうなどPRに努めているところであり、今後さらに広報活動を充実させ、地域活性化に繋がるよう努力していく。

○委員

現地に行ったが、ちょうどフェリーが到着した時間帯だったことから、大型車の交通量が多く、整備の必要性は強く感じた。ウミガメの産卵環境への影響が懸念されるので、ウミガメが戻ってくるような努力を続けていくようお願いする。

○道路建設課

騒音や光の対策、専門家との協議を続けながら進めていきたい。

○委員

ウミガメについて、今後モニタリングをするとのことだが、もし戻って来なかったとき、専門家の方とは、どのような対策を行うことになっているのか。

○道路建設課

5年から10年で、同じ個体が戻ってきて、同じ場所で産卵すると言われているので、モニタリングを継続し、産卵の確認を待っているという段階である。現段階では対策を考えていない。

○委員

地元との調整について、ウミガメの保存をしている方々とどのような話をしたのか、その協議の経緯を教えてください。

○道路建設課

ウミガメの保護について、地元の方が卵を見つけて保護したり、有識者の方と協力して

活動をおこなうなど、地元が積極的に行っている。有識者の方と地元の方には道路の計画・ウミガメに対する対策等の情報提供を行いながら、どのように道路事業を進めていくのかを説明し、ご理解をいただいた上で、進めている。

～11:07

3. 【再評価】 地すべり対策事業 乙原地区

○砂防課 説明 11:12～11:23

○委員

3-2「環境等への配慮」について、遊園地内での対策は、完全に地中化することで景観の保全に努めたとあるが、それにより発生する費用が通常よりも大幅に増えているのではないかと懸念している。

○砂防課

大幅な増額にはなっていない。数万円程度である。

○委員

遊園地の費用負担はあるのか。

○砂防課

補助事業のため、遊園地からの負担はない。

○委員

地盤がゆるいことを認識して遊園地を買ったと思うが、公共の資金を使用して地盤強化するのは適切なのか、疑問を持っている。

○砂防課

地すべり現象は自然現象であり、温泉や地下水が原因で地すべり現象は起こるため、国から危険区域として認められ指定された砂防事業であるので、問題ない。

○委員

3-1「変更内容・理由」について、もう少し丁寧に記載してほしい。

○砂防課

詳しく記載する。

○委員

費用便益内訳表を見ると、費用は増額されているが、それ以上に便益は増額している。便益の増額理由について、しっかり記載してほしい。

○砂防課

詳しく記載する。

○委員

降雨量が増加する中、災害対策の必要性から早急に工事を進めていく必要があると思う。温泉地や地すべりの多い大分県では災害対策が必須であり、地域住民が安全に暮らしていることをPRしても良いのではないかと思う。

○砂防課

今回の事業評価で継続が認められれば、早急に進めていきたい。また、可能な範囲でPRしていきたい。

○委員

3-1「事業の進捗状況」について、AEブロックの対策が終了すれば、この事業が終わるのか分かりにくいため、もう少し具体的に書いた方がよいのではないか。

○砂防課

AEブロックの対策が完了すれば、この事業完了である。具体的に記載する。

～11:36

4. 【事後評価】 海岸環境整備事業 国東港海岸 武蔵（藤本）地区

○港湾課 説明 11:37～11:45

○委員

当初2008年に完成予定だった事業が2019年に完了したが、その遅延の主な原因は何か。

○港湾課

現場の条件として海水浴シーズンは施工ができないことがあった。当初から分かっていたが、この影響で事業期間が延びた。また、事業途中で行政刷新会議により国の補助事業の見直しが発生し、その合意形成と調整に時間がかかった。このことが事業延長の一因となっている。

○委員

人口海浜の移動が経年的に見られると予想されているが、その管理についてどのように考えているのか。

○港湾課

人口海浜の移動について、現状では、元の地形と寄り添う形で海浜が移動していること

が確認されている。このような調査結果を踏まえ、県事業として突堤の追加整備を行い、今後も砂浜の移動を経過観察し、必要に応じて砂を戻すなどの維持管理を行っていく方針である。

○委員

維持管理を行うとのことだが、維持管理費について教えてほしい。

○港湾課

維持管理費として、全体事業費の約0.5%、毎年2000万円程度を計上している。

○委員

4-4「工法の妥当性」で「当初から一部変更」とあるが、何が変更になったのか。

○港湾課

磯場を設置するような計画であったが、行政刷新会議により、事業費を抑えることとなり、一部設置に計画が変更となっている。遊歩道や植栽も取り下げている。

○委員

4-1「コスト縮減」について、ブロックの流用によって事業費が削減されたと記載されているが、具体的にどのくらい削減できたのかの説明がほしい。

○港湾課

再生クラッシュランというリサイクル資材を用いることによって、コストの縮減を図っている。

○委員

現地を訪れたが、飛行機の離発着が見える良い海岸であった。集客のために、例えばレストランやカフェの設置を考えても良いのではないかと感じる。県や市で収益を上げ、税金を抑える手法としても、今後検討をお願いします。

～12:02

(審議開始・午後の部)

5. 【再評価】 防災重点農業用ため池等整備事業 竹田南部地区

○農地・農村整備課 説明 13:00～13:09

○委員

現地に行った感想として、非常に素晴らしい環境が周囲にあり、またこの地域に説明看板を設置することで更に良い印象を与えるのではないかと感じる。特にため池やダムに関しては、ただ作るだけでなく、堆積した土砂を除去する必要があることを一般に知られ

ておらず、知らせる努力が必要である。こういった情報をパネルなどで観光客や子どもたちに伝える場を作れば、理解が深まると考える。

令和3年の異常な降雨により被災したとのことだが、同様の大雨が降れば再び同じ問題が発生する可能性があるのか。

○農地・農村整備課

仮設の計画については、河川協議で必要最小限の規模を検討しているが、仮に同規模の降雨があれば、再度越水が発生する可能性はある。現在は警報装置を設置し、安全確保のために重機を引き上げる対策を取っている。また、令和3年度は例年より早い段階で大雨が発生したので、今後は気象状況を注視しつつ、計画を柔軟に対応させていく予定である。

○委員

次回の再評価までに同程度の大雨が起こり、また同じ問題が発生した際、なぜ前回の対策が十分でなかったのかと問われる可能性があるため、今回の対策を記録に残しておくことが必要だと思う。これは、次回の評価や検討の際に役立つと考える。

○農地・農村整備課

対策内容を記録に残す重要性を認識し、今後の参考にする。

○委員

私も現地調査に参加したが、浸水被害の戸数について疑問がある。床上浸水被害160戸の被害とあるが、現地の状況からすると、その数が多く感じられた。また、観光客への案内があるかどうかにも気になる。

○農地・農村整備課

浸水被害の区域は国のマニュアルに基づき作成している。観光案内に関しては、竹田市の観光協会と情報共有し、観光客に最新の状況をホームページなどで周知している。

○委員

ため池整備事業は、万が一ため池が壊れた際の被害を防ぐためのものだが、ため池は田畑に水を供給する役割もあり、その機能が失われると農業への影響が大きいと思う。この点についての資料が不足しているように感じるが、供給が止まった場合の被害についてもっと説明が必要ではないか。

○農地・農村整備課

確かに、ため池は農業用水供給の重要な役割を担っている。本事業の受益地は356haで、かなり大きな受益地である。今後はご指摘を踏まえて農業被害額の軽減や供給面での重要性も明確に説明していきたいと思う。

○委員

私は竹田市に行く際、白水ダムをよく訪れるが、工事等で水が流れていないことが多く、何度かがっかりした経験がある。観光案内の工夫として、少し手前にでも「現在流れてい

ない」などの掲示があれば観光客にとって有用だと思う。

○農地・農村整備課

観光面での配慮についてのご意見、参考にする。

～13：26